

# Dr.M'zの太宰府紀行



今回は楼門から参拝を再開しよう。

楼門の周りには、

祈願が叶った御守りを納める古札納所や

参拝前に手や口を清める手水場がある。



私も、しっかりと手を清めてから、先に進んだ。



さて、この楼門だが

学業成就の登竜門とされており

この時期は、青森のねぶたと組み合わせた

『飛龍天神ねぶた』が装飾されている。



この登竜門をくぐり抜けると、広い境内が見えてくる。





受験生らしき中高生の姿が多く見られるのは  
さすが太宰府天満宮である。

周りに目を向けてみると、学業祈願の御守りや  
鉛筆、絵馬が売られている。



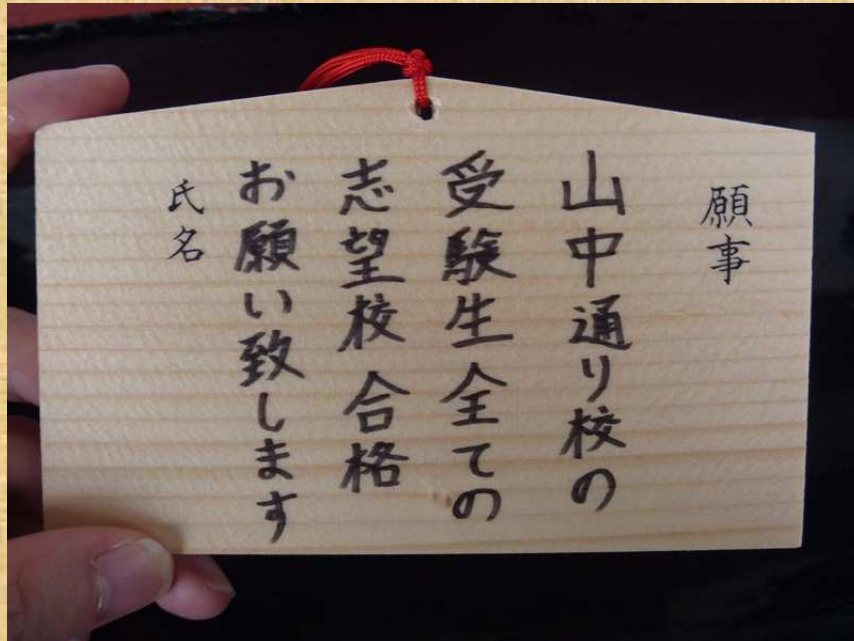
そのすぐ横に見えるのが絵馬掛けである。



ちょっと覗いてみると  
やはり、受験合格祈願がたくさん並んでいる。



私も、山中通り校の受験生へ向けて  
一つ願掛けをしてみた。



この絵馬は、志望校合格へほんの少し後押しするだけなので  
みなさん自身の努力は怠らないようにしましょう。

また、境内にはもう一つ見ておかないといけないものがある。  
それが、『飛梅』である。





この梅は、菅原道真が都に住んでいた時に  
庭に植えられていたもので、非常に大切にしていた。

道真が太宰府に左遷される際も、

「東風吹かば 匂ひおこせよ 梅の花

あるじなしとて 春なわすれそ」

と詩を詠んだほどである。

すると、この梅の木が主を想って、太宰府まで飛んできた…

という伝説から飛梅と呼ばれている。

さて、前置きが長くなってしまったがいよいよ本殿である。



雨が降っているにも関わらず、参拝者が多いのは  
受験シーズンだからだろう。

さて、一歩前へ進んでみよう。



立派な賽銭箱の前に来た。

さっそく、拝礼作法に則って、合格祈願をしよう。

二礼

二拍手

一礼

(山中通り校の受験生の志望校合格お願い致します。)

さて、これで私の太宰府紀行はこれで終わりだ。

少しでも天満宮参拝の気分が味わえたら幸いだ。

また、興味が湧いたらぜひ自分の足で参拝してみよう。

その時は、ぜひ合格成就御礼の旅にして欲しいものである。

ではまた、お会いしよう。